

第6回 福祉の仕事を知るための 見学バスツアー報告書



主催：一宮市障害者自立支援協議会生活支援部会

福祉バスツアー



2013年5月30日(木)第6回「福祉のしごとを知るための見学バスツアー」を行いました。

福祉サービスを利用している人たちや、福祉の現場で働く人たちから、その魅力を伝えていただき、参加者に「自分も何かやってみたい」と思えるきっかけになる機会を作りたいとの想いで始まったバスツアーも今回で6回目。

当日の参加者は19名、生活支援部会のスタッフが12名、福祉課職員1名を合わせて総勢32名のツアーとなりました。

1. まごころ(放課後等児童デイ)

事業所について、分かりやすくパワーポイント紹介していただいた後、実際に福祉の仕事をしているパート職員から“生の声”を聞かせて頂きました。その方は、特に福祉の経験はなく「ここにNPO法人があるな～」くらいの認識でたまたま求人で見つけたからというのがはじまり。「特に資格もなく毎日が驚きの連続で手探り状態でした。一人ひとり全く違う、日によって変わる子どもの表情、ここで私の世界が広がりました。なにより楽しいから続けられています。」と、働かれる方の素直な言葉から、福祉の仕事のやりがい、楽しさと難しさがすう〜と参加者に届くのを感じました。事業所内も蛍光灯に幕を張って光を和らげたり、角にはクッション材、利用される児童の日課などもスケジュールが貼ってあって、やさしい環境にみなさんの表情も緩みながらの見学になりました。(本山)



2. あおぞら(就労継続支援B型・生活介護)

何よりも事業所を埋め尽くさんばかりに山積みされた回収自転車の数にびっくり!!それを職人のような手つきで利用者の皆さんが見事にばらばらに解体、パーツや素材ごとに分別していく姿にさらにびっくり!!(他にも空き缶やペットボトルのリサイクル、箱折りの軽作業なども熱心に取り組んでみえました。)利用者の力を活かしながら、なおかつ斬新な発想でお金に換えられる仕事を貪欲に探す職員さんの姿勢



に感心させられました。作業や休憩、余暇活動などのメリハリをつけながらも、利用者さんのペースや役割を大切にしている、やさしい視点が伝わってきました。(団迫)



3. あかみの家(ケアホーム)

4月に開所したばかりの新しいケアホームで、棟内には木のいい香りがあふれていました。居室は二重扉になっており夜間の見回り時のドアの開閉音などで、利用者さんの睡眠を妨げない様に工夫されていました。共有スペースも適切な広さがあり、建物の構造から装飾品に至るまで、自閉症や行動障害の激しい方など刺激に敏感な利用者さんに配慮して、極力シンプルなものにしている空間が印象的でした。(竹内)

4. かすみ草(生活介護)

玄関を入ってすぐ、パンやパウンドケーキが綺麗に陳列していました。参加者だけではなくツアースタッフも、お土産にと長い行列ができましたよ。中には、両手にいっぱい購入される方も...(笑)レジでは、利用者さんが丁寧に接客をしてくれます。他にも様々な作業があり、軍手やウエスなどの製品も作っています。食堂には「工賃アップ」と今年の目標が掲げられていました！(上原)



5. ほづみの家(ケアホーム)

車椅子の方が多く利用されることから、間口が広く、施設内の通路も”ゆったり”した空間。そこに新しい木の香り...「私もここで生活したい」という声が出ていました。浴室のリフトにも試乗させていただきました。最新型で椅子に座った状態で入浴ができ、本人にも介助する側にもやさしく安心ですね。障害者支援施設「あすか」と隣接していることも、さらなる安心が得られています。一宮市内にこういう施設や支援する人が増える事を切に願います。(犬飼)

6. その他

アンケート結果(別紙)

ご協力ありがとうございました。次回のツアー企画に活かしていきます。

ツアーに参加していただいた皆さん、スタッフさん、

本当におつかれさまでした。

